

今後の国立大学附属病院施設整備に関する検討会資料

国立大学附属病院施設整備の現状について



文部科学省大臣官房文教施設企画部計画課整備計画室

平成25年2月6日



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

目次

1. 大学附属病院の現状について

- 第3次国立大学法人等施設整備5か年計画（平成23年～27年）・・・・・・・・・・・・・・・・P. 1
- 知の拠点－我が国の未来を拓く国立大学法人等施設の整備充実について(大学附属病院関連抜粋) ・ P. 2
- 国立大学法人等施設整備予算額の推移・・・・・・・・・・・・・・・・P. 3
- 国立大学附属病院機能一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・P. 4
- 大学附属病院再開発整備の進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・P. 5
- 病院再開発整備について・・・・・・・・・・・・・・・・P. 6
- 再開発整備着手事業選定フロー・・・・・・・・・・・・・・・・P. 7
- 病院再開発整備の一般的整備手法・・・・・・・・・・・・・・・・P. 8

2. 「国立大学附属病院の今後のあるべき姿を求めて」のポイント・・・・・・・・P. 9

3. 厚労省の医療制度改革の動きについて・・・・・・・・P. 10

4. これまでの再開発整備の成果と課題・・・・・・・・P. 11

5. 国立大学附属病院の防災機能の現状について

- 国立大学附属病院の予算措置の状況・・・・・・・・・・・・・・・・P. 12
- 災害時における医療体制の充実強化について・・・・・・・・P. 13
- 病院設備設計ガイドライン（BCP編）・・・・・・・・P. 14
- 東日本大震災－東北大学病院の取り組みと得られた教訓－（防災機能について）・・・・P. 15

第3次国立大学法人等施設整備5か年計画(平成23~27年度)

平成23年8月26日 文部科学大臣決定

第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)

国は、重点的に整備すべき施設等に関する国立大学法人全体の施設整備計画を策定し、安定的、継続的な整備が可能となるよう支援の充実を図る。

基本的考え方

3Sの一体的な推進

質的向上への戦略的整備

—Strategy—

- ・卓越した教育研究拠点の形成
- ・個性や特色を発揮して教育研究を活性化する環境の整備
- ・先端医療・地域医療に対応した大学附属病院の計画的な整備

地球環境に配慮した教育研究環境の実現

—Sustainability—

- ・省エネルギー等の推進
- ・老朽施設のエコ再生や再生可能エネルギーの導入推進

安全な教育研究環境の確保

—Safety—

- ・建物の耐震化、非構造部材の耐震対策
- ・基幹設備(ライフライン)の改善

長期的視点に立った整備の推進

キャンパスマスタープランの策定・充実

- ・キャンパス全体の整備計画の策定・充実

システム改革の推進

- ・施設マネジメント(既存施設の有効活用等)、多様な財源を活用した施設整備

重点整備

老朽改善整備 (約400万㎡)

- ・防災機能強化、教育研究の基盤として相応しい質の確保
- ・建物の耐震化を計画期間内に完了
- ・安全性や機能面で問題のある基幹設備(ライフライン)の改善



狭隘解消整備 (約80万㎡)

- ・卓越した教育研究拠点の整備
- ・高度化・多様化する教育研究活動に伴い必要なスペースの確保(若手研究者の増加、留学生の受入れ等)



大学附属病院の再生(約70万㎡)

- ・再開発整備の着実な実施
- ・最先端医療への対応
- ・災害時の救命救急医療の拠点としての整備



所要経費: 約1兆1,000億円

システム改革

システム改革の一層の推進

- ・施設マネジメントの推進
- ・多様な財源を活用した施設整備適切な事業評価とフォローアップの実施

十分な機能をもった、質の高い、安全な教育研究環境の確保

知の拠点－我が国の未来を拓く国立大学法人等施設の整備充実について(平成23年8月 協力者会議報告)

～新たな価値を生み出すキャンパス環境の創造・発展～

(大学附属病院関連抜粋)

国立大学法人等施設の現状と課題

国立大学法人等施設は、第2次5か年計画に基づく重点的整備とシステム改革により整備が推進されてきた。しかしながら、現在の国立大学法人等の施設においては、依然として様々な課題を抱えている状況が浮き彫りになっており、具体的には以下の問題が生じている。

【病院再生整備の状況】

大学附属病院は、将来の医療を担う医療人の教育・養成(教育研修機能)、臨床医学発展と医療技術水準の向上への貢献(研究開発機能)及び地域の中核病院としての質の高い医療の提供(医療提供機能)といった重要な役割を担っている。

このような使命を果たすためには、その基盤となる施設が、医療の高度化や地域医療に対する機能強化等に対応することが極めて重要であるが、施設の老朽化等に伴い、先端医療機器の導入の困難、患者の療養環境の悪化によるサービスの低下、医療従事者の労働環境の悪化及び経営の非効率等の状況が発生している。

大学附属病院は、建物の老朽化のみならず、最先端医療に十分に対応できない旧来の病院施設を多く抱えており、順次再開発整備を行っているが、42大学附属病院中、再開発整備中が26病院、再開発未着手が6病院あり、適切な教育研究活動や医療活動を行えない状況が多く残っている。

今後の国立大学法人等施設整備における中長期的な対応方策

【計画的・重点的な施設整備の基本的な考え方】

次期5か年間ににおいては、より効果的・効率的な施設整備を実現する観点から、次の「3つのS」(①質的向上への戦略的整備－Strategy、②地球環境に配慮した教育研究環境の実現に向けた取組－Sustainability、③安全な教育研究環境の確保－Safety)で示された基本方針に基づき、施設の計画的・重点的な整備を行うことが必要である。

◇先端医療・地域医療に対応した大学附属病院の計画的な整備

大学附属病院は、教育・研究・診療機能を持つという基本的認識を踏まえつつ、卒前教育と卒後教育の一体的な魅力ある教育プログラムや、医療の専門化、高度化に対応した最先端の医療、災害時における救命救急医療の拠点としての機能、地域との連携の推進などに対応するために必要となる大学附属病院機能の向上を図る。

<推進方策>

- 各国立大学法人等の個性・特色に応じた戦略的整備の推進
教育研究の高度化・多様化に対応した環境整備を推進する観点から、各国立大学法人等の個性や特色を踏まえたカテゴリーを設定し、教育研究等への効果が高い施設から優先的に整備を推進する。
(カテゴリー)
カ)大学附属病院機能の充実

【重点的な施設整備の内容】

前記の基本的な考え方に基づく施設整備に当たっては、国立大学法人等施設の現状を考慮しつつ、十分な機能を持った、質の高い、安全な教育研究環境の確保とその一層の高度化に向けて、次に掲げる観点から重点的な整備を推進することが必要である。

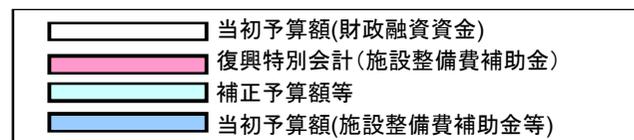
◇先端医療・地域医療に対応した大学附属病院の再生

大学附属病院は、将来の医療を担う医療人を養成する教育機能、高度先進医療等を開発する研究機能、地域医療の中核的役割を担う診療機能を持つという基本的認識を踏まえつつ、卒前教育と卒後教育の一体的な魅力ある教育プログラムの構築等に対応した環境の整備、医療の専門化、高度化に対応した最先端の医療環境の整備、地域医療において附属病院が担う役割に対応した整備、災害時における救命救急医療の拠点としての整備を計画的に推進することが必要である。

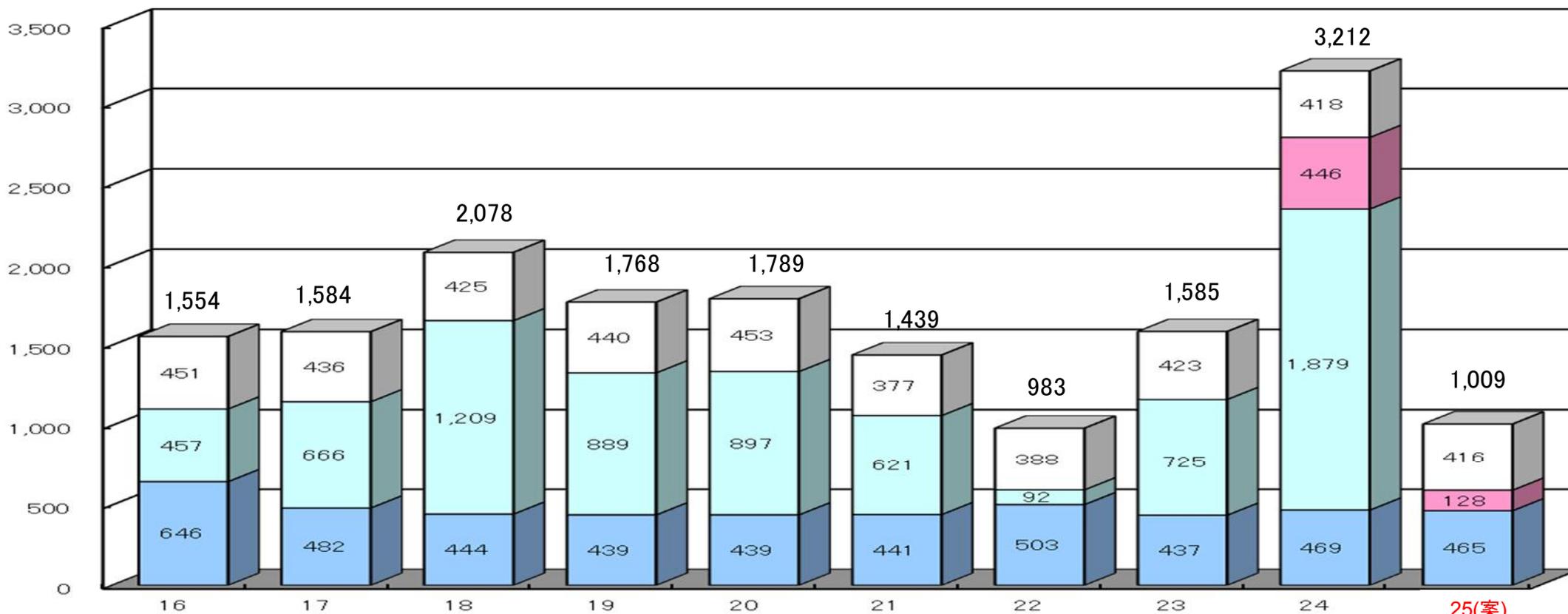
<整備目標の考え方>

これまでも、大学附属病院の再開発整備については計画的に推進してきた。今後も、事業の継続性等を十分踏まえつつ、今後5年間で第2次5か年計画と同程度の約70万㎡の整備を実施することにより、再開発整備中の大学附属病院については引き続き着実に整備を実施し、未着手の大学附属病院については今後順次着手を目指すなど、継続的・計画的な整備を推進していくことが必要である。このほか、最新の医療ニーズへの対応や安全性の確保等に不可欠な施設整備についても適切に対応していく必要がある。

◆国立大学法人等施設整備予算額の推移



(単位：億円)



- ※1 平成16年度補正予算額は、新潟県中越地震等における災害復旧費（89億円）を含む。
- ※2 平成22年度補正予算額は、経済危機対応・地域活性化予備費使用額（41億円）を含む。
- ※3 平成23年度補正予算額は、東日本大震災における災害復旧費（375億円）を含む。
- ※4 平成24年度補正予算額は、2度の経済危機対応・地域活性化予備費使用額及び補正予算予定額の合計。
- ※5 四捨五入により合計は一致しない。

国立大学附属病院機能一覧表

平成24年10月時点

大学病院名	病床数 (床)	災害拠点		救命救急				周産期			がん		エイズ		僻地 医療 拠点	被ばく 医療	臓器移植登録施設						備 考		
		基幹	地域	高度	病床数	救命	病床数	総合	病床数	地域	病床数	都道府県	地域	ブロック 拠点			拠点	医療 拠点	心臓	肝臓	肺	膵臓		小腸	腎臓
北海道大学病院	946		●								●	9		●	●		●	●							
旭川医科大学病院	602		●			●	20				●	9		●	●		●	●							
弘前大学医学部附属病院	636			●	10						●			●	●		●	●							
東北大学病院	1,285		●	●	20						●			●	●		●	●							
秋田大学医学部附属病院	613	●									●			●	●		●	●							
山形大学医学部附属病院	625									●	6			●	●		●	●							
筑波大学附属病院	800							●	15					●	●		●	●							
群馬大学医学部附属病院	725		○							●	9			●	●		●	●							○地域災害拠点病院指定H24.10.1
千葉大学医学部附属病院	835		●											●	●		●	●							
東京大学医学部附属病院	1,222		●			●	20	●	15					●	●		●	●							(医科研)除く
東京医科歯科大学医学部附属病院	800		●			●	34							●	●		●	●							(歯)除く
新潟大学歯学部総合病院	825	●		●	16			●	15					●	●		●	●							
富山大学附属病院	550	●								●	12			●	●		●	●							
金沢大学附属病院	838									●	9			●	●		●	●							
福井大学医学部附属病院	600		●					○	15					●	●		●	●							○総合周産期母子医療センター(H24.8~)
山梨大学医学部附属病院	606	○								●	6			●	●		●	●							○基幹災害支援病院
信州大学医学部附属病院	707		●	●	20					●	9			●	●		●	●							
岐阜大学医学部附属病院	614	○		●	20					●				●	●		●	●							○基幹災害拠点病院(H23.10~)
浜松医科大学医学部附属病院	613		●							●	6			●	●		●	●							
名古屋大学医学部附属病院	1,035		●											●	●		●	●							
三重大学医学部附属病院	685		●			●	20			●	6			●	●		●	●							
滋賀医科大学医学部附属病院	614		●											●	●		●	●							
京都大学医学部附属病院	1,121									●	9			●	●		●	●							
大阪大学医学部附属病院	1,076		●	●	20			●	15					●	●		●	●							(歯)除く
神戸大学医学部附属病院	920		●							●	9			●	●		●	●							
鳥取大学医学部附属病院	697		●			●	10	●	15					●	●		●	●							
島根大学医学部附属病院	465		●											●	●		●	●							
岡山大学病院	925		○	○	22					●	6			●	●		●	●							○高度救命救急センター・地域災害拠点病院(H24.4~)
広島大学病院	746		●	●	20					●	3			●	●		●	●							
山口大学医学部附属病院	736			●	20			○	18					●	●		●	●							○総合周産期母子医療センター(H23.4~)
徳島大学病院	696		○			●	12			●				●	●		●	●							○地域災害拠点病院(H24.3~)
香川大学医学部附属病院	613		●			●	15	●	15					●	●		●	●							
愛媛大学医学部附属病院	626		●							●	12			●	●		●	●							
高知大学医学部附属病院	605		●							●				●	●		●	●							
九州大学病院	1,415		●			●	22	●	21					●	●		●	●							
佐賀大学医学部附属病院	604	●				●	30							●	●		●	●							
長崎大学病院	862	●				●	6			●	9			●	●		●	●							
熊本大学医学部附属病院	845							●	18					●	●		●	●							
大分大学医学部附属病院	604					●	10							●	●		●	●							
宮崎大学医学部附属病院	632	●						●	12					●	●		●	●							
鹿児島大学病院	770									●	9			●	●		●	●							
琉球大学医学部附属病院	600									●				●	●		●	●							
計	32,334	8	24	9	168	10	187	12	186	17	138	24	17	4	38	1	12	6	16	5	9	10	37		
東京医科歯科大学歯学部附属病院	60																								
大阪大学歯学部附属病院	40																								
東京大学医科学研究所附属病院	135													●											
計	235	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	32,569	8	24	9	168	10	187	12	186	17	138	24	17	4	39	1	12	6	16	5	9	10	37		

大学附属病院再開発整備の進捗状況(平成24年度時点)

既 設 大 学 新 設 大 学

大 学 名	再開発整備 開始年度	整備 状況	病 棟	中 央 診 療 棟	外 来 診 療 棟
北海道大学	昭和61年度 (平成10年度終了)	済	(H元~5)	(H6~8)	(S61~63)
東京医科歯科大学	昭和62年度 (平成15年度終了)	済	I期(S62~H3) II期(H5~8)	I期(S62~H3) II期(H5~8) III期(H10~12)	I期(S62~H3) II期(H5~8) III期(H10~12)
岐阜大学	平成11年度 (平成16年度終了)	済	(H11~14)	(H11~14)	(H11~14)
大阪大学	昭和62年度 (平成5年度終了)	済	(S63~H4)	(S63~H4)	(H元~4)
神戸大学	昭和56年度 (平成14年度終了)	済	I期(S56~58) II期(H10~13)	(S56~58)	(S59~61)
鳥取大学	昭和62年度 (平成6年度終了)	済	(S62~H元)	(H4~6)	(H4~6)
山口大学	昭和60年度 (平成9年度終了)	済	I期(S62~H元) II期(H2~4)	(H7~8)	(S60~61)
弘前大学	昭和61年度 (平成22年度終了)	済	I期(S61~63) II期(H元~3)	(H8~10)	(H16~19) 救命救急センター(H21)
東北大学	昭和61年度 (平成23年度終了)	済	I期(H8~11) II期(H14~17)	(S62~H元)	(H10) 増築(H19~21) 改修(H21~23)
秋田大学	平成18年度	中	増築(H19~21) 改修(H21~24)	(H22~25)	(H22~25)
群馬大学	昭和60年度 (平成21年度終了)	済	I期(S62~H元) II期(H10~12)	I期(S62~H元) II期(H15~18) 改修(H20~21)	(S60~61)
千葉大学	平成16年度	中	増築(H16~19) 改修(H20~22)		(H23~26)
東京大学	平成2年度 (昭和58年度)	中	I期(H8~11) II期(H24~28)	I期(S58~62) II期(H14~17)	(H2~5)
新潟大学	平成9年度	中	I期(H9~12) II期(H14~17)	増築(H18~21) 改修(H23~24)	(H21~24)
金沢大学	平成9年度	中	I期(H9~12) II期(H10~13)	(H13~16)	(H18~20)
信州大学	昭和62年度 (平成22年度終了)	済	I期(H3~5) II期(H7~8)	(H11~13)	(H18~20) 改修(H21)
名古屋大学	平成5年度	中	I期(H5~7) II期(H8~10)	(H13~17)	(H18~20)
三重大学	平成18年度	中	(H19~23)	(H19~23)	(H23~26)
京都大学	昭和60年度	中	(S60~62) (H24~27)	(S63~H3)	(H8~10)
岡山大学	平成10年度	中	I期(H10~14) II期(H16~19)	増築(H22~24) 改修	(S58~59)
広島大学	平成10年度	中	(H10~H14) 入院棟改修(H22~23)	増築(H21~25)	増築(H21~25) 改修
徳島大学	平成7年度	中	I期(H7~9) II期(H18~21)	(H12~14)	(H24~27)
九州大学	平成8年度	中	I期(H9~13) II期(H13~17)	I期(H9~13) II期(H13~17)	(H18~21)
長崎大学	平成16年度	中	(H16~19) 感染症センター(H22~23)	増築(H16~H19) 改修(H24~27)	改修(H20~23)
熊本大学	平成11年度	中	I期(H11~H14) II期(H19~21)	(H15~H18)	(H23~25)
鹿児島大学	平成19年度	中	(H22~24)	増築(H19~21) 改修(H21~22)	改修

設置	大 学 名	再開発整備 開始年度	整備 状況	病 棟	中 央 診 療 棟	外 来 診 療 棟
5 1 年	旭川医科大学	平成10年度 (平成16年度終了)	済	改修(H10~16) 増築(H10~13)	改修(H10~16)	改修(H16)
	愛媛大学	平成10年度 (平成16年度終了)	済	増築(H10~13) 改修(H13~16)	改修(H13~16)	改修(H13~16)
	山形大学	平成17年度	中	増築(H17~19) 改修(H20~22)	改修(H23~26)	改修(H23~26)
5 2 年	筑波大学	平成19年度	中	PFI事業	PFI事業	PFI事業
	浜松医科大学	平成18年度	中	増築(H18~21) 改修(H22~25)	改修(H22~25)	改修(H22~25)
	宮崎大学	平成18年度	中	改修(H22~23) 改修(H23~24)	増築(H18~19) 改修(H19~20) 改修(H22~23)	増築(H20~21) 改修(H23~24)
5 3 年	滋賀医科大学	平成17年度 (平成23年度終了)	済	増築(H17~19) 改修(H19,H20~21)	増築(H20~21) 改修(H21~23)	改修(H21~23)
5 4 年	富山大学	平成20年度	中	増築(H20~22) 改修(H23~25)		
	島根大学	平成20年度	中	増築(H20~23) 改修(H22~24)	増築(H20~23) 改修(H22~24)	改修(H22~24)
5 6 年	高知大学	平成23年度	中	増築(H23~26) 改修		
	佐賀大学	平成23年度	新	増築(H23~24) 改修	増築(H23~24) 改修	
	大分大学	平成22年度	中	増築(H22~24) 改修		
5 8 年	琉球大学	未着手	未			
	福井大学	平成23年度	中	増築(H23~25) 改修		
	山梨大学	平成24年度	中	増築(H24~27) 改修		
	香川大学	平成23年度	中	増築(H23~25) 改修		

凡例: 済: 整備済 14大学
 中: 整備中 27大学
 未: 未着手 1大学
 計 42大学

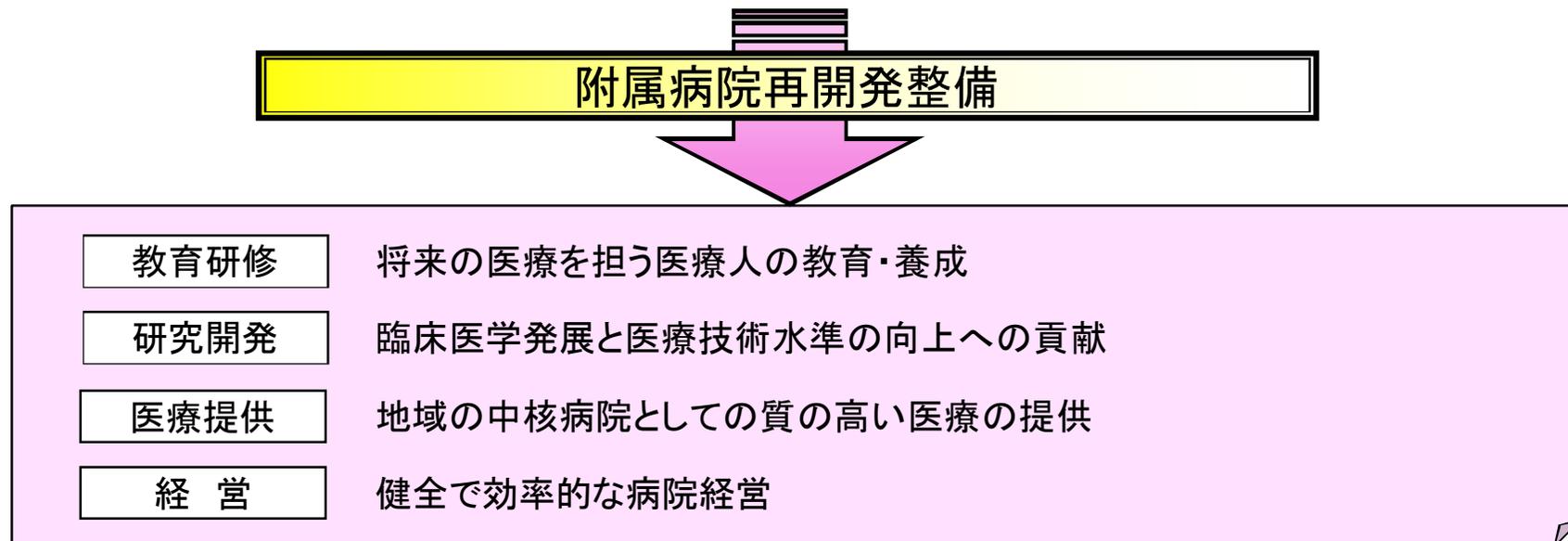
病院再開発整備について

1. 現状の附属病院の問題点

老 朽 化	・安全性や耐久性の低下
	・医療高度化対応が不可能
	・患者サービスの低下
	・労働環境の悪化
	・経営の非効率化

狭 隘 化	・医療人育成への対応が困難
	・先端医療機器導入が困難
	・地域医療連携への対応が困難
	・患者本位の医療対応が困難
	・4床室化や個室の増設が困難

2. 魅力ある附属病院への再生



再開発整備着手事業選定フロー

